

平成 23 年 6 月 8 日

日本水環境学会会員各位

社団法人 日本水環境学会

### 東日本大震災への学会対応に関するお知らせ

東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日発生）により被災した方々に、衷心より御見舞い申し上げます。

皆様ご承知の通り、本学会は、水環境に関連する分野の学術的調査や研究、知識の普及、健全な水環境の保全と創造への寄与、学術・文化の発展への貢献を活動目的としています。その一方、このたびの震災は、かつての震災には見られないような規模で、水環境の健全性に影響を与えています。

被災地・避難民への安全な水供給はもちろんのこと、今回の震災では津波が甚大な影響を引き起こしています。大量の廃棄物が発生し、そこからの水質汚染も懸念されています。多くの下水処理場が本来の処理機能を失い、一次処理相当の水が放流されています。さらに、福島第一原子力発電所から排出された放射性物質もまた、水から検出されています。

また、水産業が地域の主要産業となっている東北沿岸域の被災地も多く、その復興を支えるためにも、水環境の健全性を一刻も早く取り戻す事が必要となっています。水環境への影響を少しでも軽減し、また、水環境の健全性を適切な方法で評価することで、復旧・復興を支えることは、本学会の重大な使命です。

大震災への本学会の対応として、4月7日の運営理事会での審議の上、「東日本大震災対応タスクチーム」を正式に発足させ、上記課題に関連した学会らしい活動方針や内容を検討してまいりました。5月16日の運営理事会では、タスクチーム検討案を審議の上、学会支部や研究委員会の組織単位で被災地調査などに本格的に取り組むことといたしました。また、それに伴う予算も計上されることとなりました。そして、この方針や活動案は、5月23日の理事会にてもご報告されました。会員各位からの関連活動も含めて、タスクチームに集約していきたいと考えておりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、同委員会の web ページは、こちらをご覧ください。